



甲府駅周辺土地区画整理事業 社会資本整備総合交付金事業 (事後評価)



甲府市役所 まちづくり部
まち開発室 区画整理課

目次

1. 甲府駅周辺土地区画整理事業の概要
2. 社会資本整備総合交付金について
3. 事後評価について
4. 目標値の達成状況の検証
5. 事後評価書

1. 甲府駅周辺土地区画整理事業の概要

(1) 目的

本地区は、旧国鉄貨物ヤード跡地等を活用した、21世紀における都心地区の活性化を図る新都市拠点整備事業が進められている。

本事業は、都市基盤施設等の整備による、県都として活力ある拠点形成を図るため、都市計画道路10路線及び公園等公共施設の整備改善による、都市拠点としての市街地の形成を目的とする。

(2) 施行面積 21.9 ha

(3) 施行期間 平成3年度～令和8年度

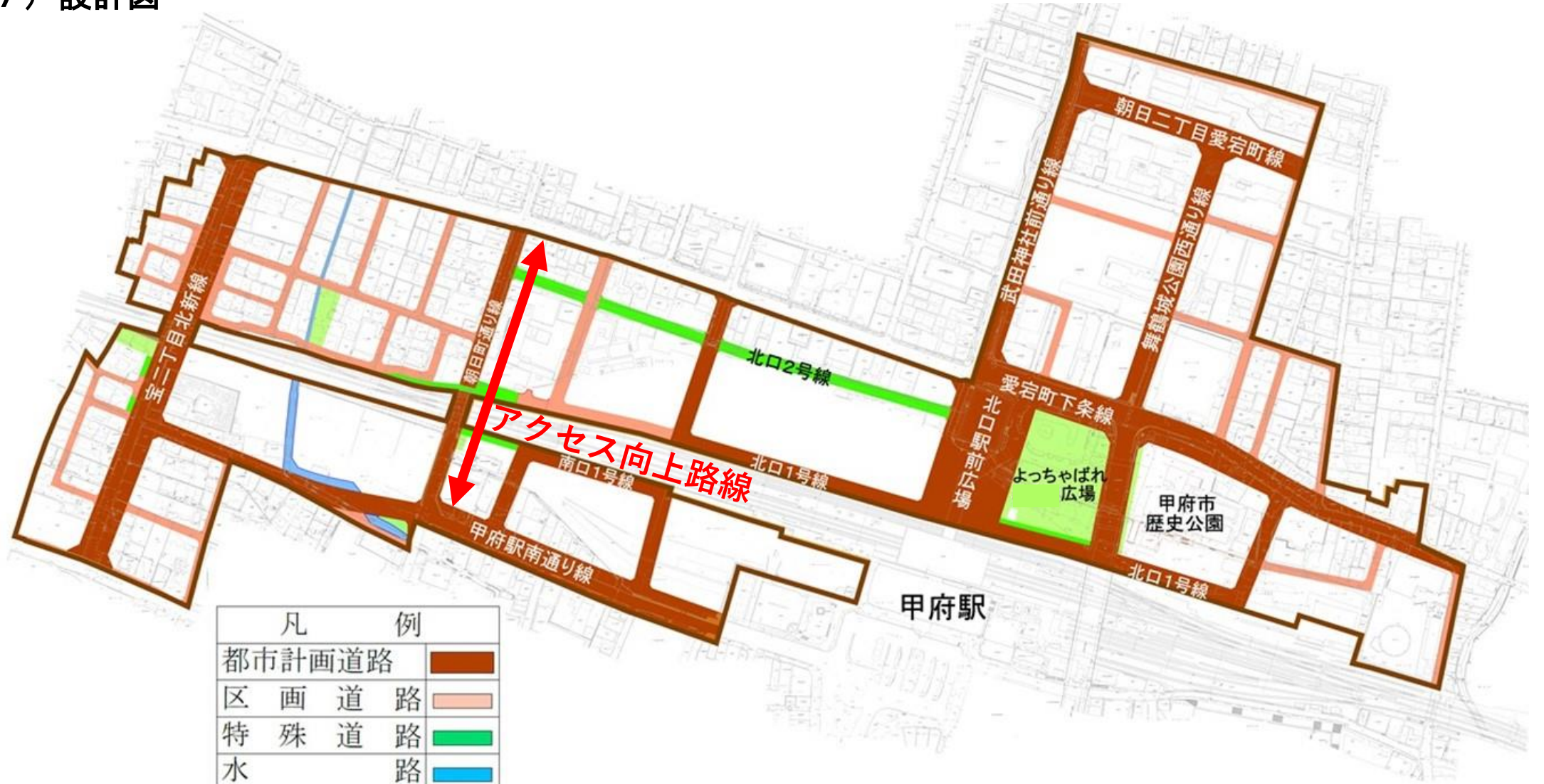
(4) 平均減歩率 18.63%

(5) 総事業費 399億円

(6) 土地の種目別施行前後施設面積

種目	施行前	施行後	増減面積
宅地	193,136 m ²	144,575 m ²	-48,561 m ²
道路	22,767 m ²	65,002 m ²	+42,235 m ²
河川・水路	1,547 m ²	1,199 m ²	-348 m ²
公園・広場	1,486 m ²	8,160 m ²	+6,674 m ²
合計	218,936 m ²	218,936 m ²	±0 m ²

(7) 設計図



凡	例
都市計画道路	
区画道路	
特殊道路	
水路	
公園・緑地	
地区界	

令和5年4月1日現在

(8) 施行状況



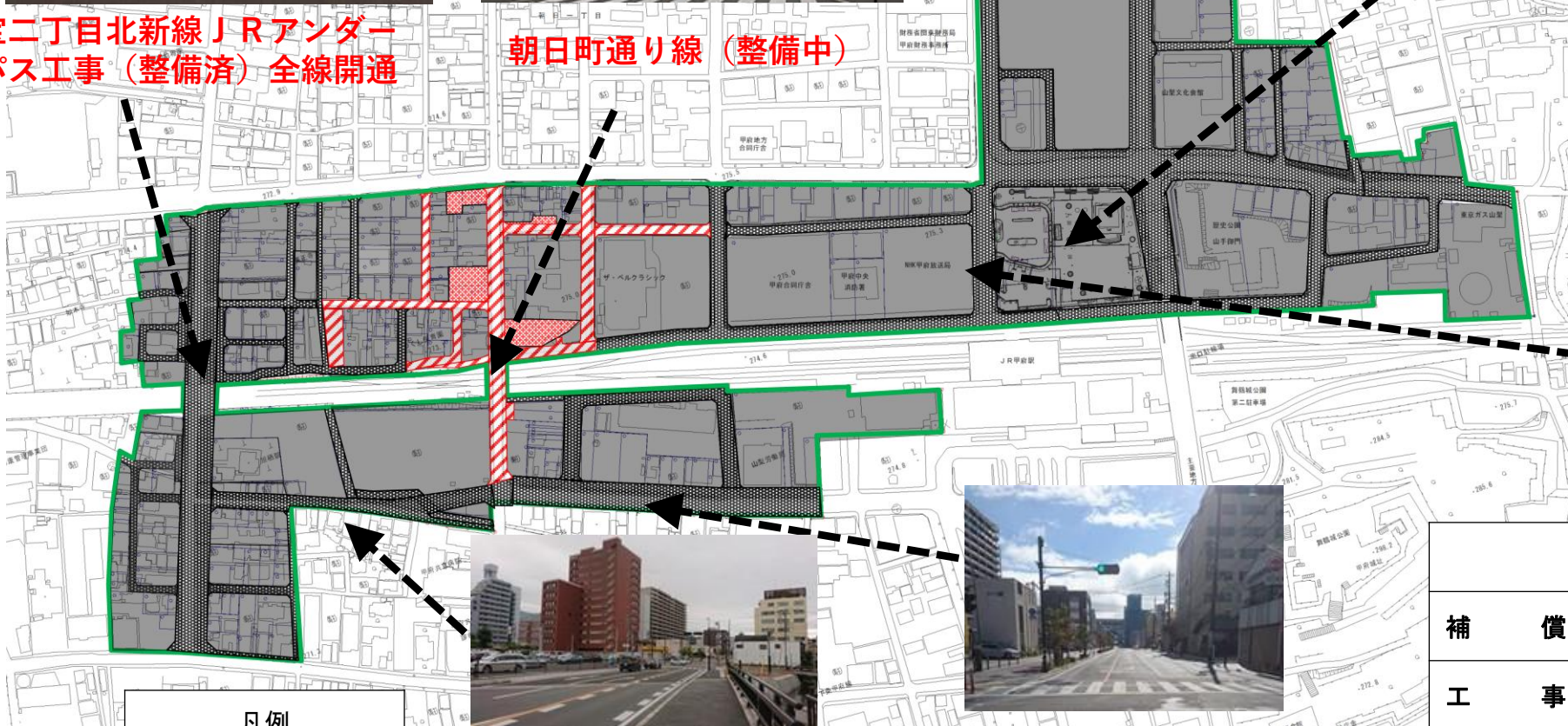
宝二丁目北新線JRアンダーパス工事（整備済）全線開通



朝日町通り線（整備中）



歴史公園からよっちゃばれ広場を望む



北口2号線（NHK、デッキ）



甲府駅南通り線（整備済）全線開通



甲府駅南通り線（整備済）

凡例	
地区界	

		整備済	整備予定
補償			
工事			

令和5年4月1日現在

2. 社会資本整備総合交付金について

(1) 社会資本整備総合交付金

社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を活かせる総合的な交付金として平成22年度に創設された。

●社会資本整備総合交付金

【特長】

- ・地域活力の創出を実現するために、県・市町村等が作成した社会資本総合整備計画に基づいてハード・ソフト両面から国が支援する制度
- ・個々の事業よりも、計画全体の目標達成（アウトカム）を重視

(2) 社会資本総合整備計画の評価

社会資本整備総合交付金の交付にあたっては、社会資本総合整備計画を作成し、交付期間の終了後、整備計画の目標の実現状況等について評価を行う。

事後評価対象計画である「甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業」について、「国土交通省社会資本整備総合交付金交付要綱」第10に基づき、社会資本総合整備計画の事後評価を実施する。

第10 社会資本総合整備計画の評価

- 1 地方公共団体等は、社会資本総合整備計画を作成したときは、これをインターネットの利用により公表するものとする。交付期間の終了時には、社会資本総合整備計画の目標の実現状況等について評価を行い、これをインターネットの利用により公表するとともに、国土交通大臣に報告しなければならない。また、必要に応じて、交付期間の中間年度においても評価を行い、同様に公表及び国土交通大臣への報告を行うものとする。

『社会資本整備総合交付金交付要綱』 抜粋

■事後評価の目的

- ・ 公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図る。
- ・ 事業完了の効果、環境への影響等を確認し、必要に応じて適切な改善措置を検討する。

■評価の項目

- ・ 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況
- ・ 事業効果の発現状況
- ・ 評価指標の最終目標値の実現方策

3. 事後評価について

事後評価対象計画

- 社会資本整備総合交付金

計画名 甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業

計画期間 平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）

評価理由 令和4年度の計画完了による

※ 令和5年度以降も2期計画として事業を継続実施中

事業の進捗状況については、別紙 資料1、資料2、資料3を参照のこと。

○ 社会資本整備総合交付金

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

計画の名称	甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業							重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)												
交付対象	甲府市												
計画の目標	甲府駅周辺土地区画整理事業及び甲府駅南口整備計画により一体的に効めているアクセス道路の整備の推進に合わせて、拠点的市街地生成重点地区整備にふさわしい都市再生区画整理事業を導入し、歩行者、自動車等のネットワークを確立し、甲府駅利用者の利便性の向上と駅周辺の安全・安心で快適な都市空間の創出を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,916	A	2,916	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H34
1	甲府駅南口へのアクセス性の向上。 H27年度道路交通センサスを基に平均旅行速度の向上を目指す。	10Km/h	Km/h	14Km/h
2	市民意向調査における「道路の整備が進められている」の実感度の向上を目指す。 H28年度実施の甲府市市民実感度調査による「道路の整備が進められている」の実感度(満足度)を270ポイントから275ポイントへの向上を目指す。	270ポイント	ポイント	275ポイント
3	朝日町通り線の整備により、現状の渋滞の緩和を図る。 甲府駅南通り線及び宝二丁目北新線の整備と一体的に朝日町通り線の整備を進めることで、朝日町通り線の旅行速度の向上と渋滞緩和を目指す。	200m	m	140m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市再生	一般	甲府市	直接	甲府市	—	—	甲府駅周辺地区（（都）朝日通り線外）	道路新設、道路改良	甲府市	■	■	■	■	■	2,916	1.36	—
											小計						2,916		
											合計						2,916		

4. 目標値の達成状況の検証

指標①	「甲府駅南口へのアクセスのための平均旅行速度を、10km/hから14km/hへ向上
指標②	H28年度実施の甲府市市民実感度調査による「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）を270ポイントから275ポイントへの向上
指標③	朝日町通り線の渋滞について甲府駅南通り線、宝二丁目北新線、朝日町通り線の整備による旅行速度の向上により渋滞長200mから140mに緩和

評価の基準	達成度
評価値が目標値を上回った場合	○
評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合	×

指標①： 平均旅行速度の向上

指標	単位	現況値と目標値の算定方法	現況値	基準年次	目標値	基準年次	最終実績値	目標達成度
平均旅行速度の向上	km/h	平成27年度道路交通センサスの混雑時の平均旅行速度10km/hを現況値としてそれに対し、旅行速度の上昇率（1.4倍）を乗じて得た値を目標値としていた。 $10.\text{km/h} \times 1.4 \div 14 \text{ km/h}$	10km/h	H30当初	14km/h	R4末	— (11 km/h)	—

令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表

山梨県

交通基本区間番号	路線名	起点側 接続路線等	終点側 接続路線等	旅行速度				昼間12時間 平均旅行速度 (時間帯別交通量加重)	
				朝夕（混雑時）		昼間（非混雑時）		上り (km/h)	下り (km/h)
				上り (km/h)	下り (km/h)	上り (km/h)	下り (km/h)		
19400060220	甲府萠崎線	中下条甲府線	中下条甲府線	12.8	8.7	14.5	9.9	13.9	9.4
19400060230	甲府萠崎線	中下条甲府線	朝日荒川線	11.5	10.4	12.4	11.6	12.1	11.1
19400060240	甲府萠崎線	朝日荒川線	甲府萠崎線		13.5		13.8		13.7
19400060260	甲府萠崎線	一般国道20号	甲府萠崎線	9.0	14.8	12.0	18.0	10.5	16.2

平均旅行速度の検証

朝日町通り線の整備が完成していないので最終実績値の測定はできない。

参考までに整備計画期間満了時の数値を括弧書きで記載する。

参考値は、R3道路交通センサスにより、以下のように算定した。

朝夕（混雑時）旅行速度 上り下りの平均値 $(11.5 \text{ km/h} + 10.4 \text{ km/h}) / 2 \div 11 \text{ km/h}$

平均旅行速度は、宝二丁目北新線の開通もあり、少し上昇している。

指標②： 道路整備の満足度

指標	単位	現況値と目標値の算定方法	現況値	基準年次	目標値	基準年次	最終実績値	目標達成度
道路整備の満足度	ポイント	平成28年度実施の市民実感度調査（次ページ参照）より、「道路整備が進められている」の実感度の270を現況値とし、5ポイント（想定）上昇するとして目標値を275と設定していた。	270	H30当初	275	R4末	— (273)	—

朝日町通り線の整備が完成していないので最終実績値の測定はできない。

参考までに整備計画期間満了時の数値を括弧書きで記載する。

参考値は、コロナ禍により、令和2・3・4年度の市民実感度調査が実施されなかったが、令和元年度までの同調査（次ページ以降に結果を示す）において、「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）は着実に向上していることから、令和元年度の数値を採用し273とする。

◆「実感度」の順位の上昇の変化による効果発現状況の検証

「実感度」とは、甲府市総合計画の施策ごとに「実感度」を4段階で数値化し（「そう思う」を4点とし、「そう思わない」を1点と換算）合計を有効回答数で除した平均値で表している。

H28市民実感度調査

順位	質問	施策・基本構想の推進 (農業・林業の振興は別記)	市民 実感度
1	安全でおいしい水が安定的に供給されている	水道水の安定供給	3.33
2	公共下水道の整備などにより、生活排水が適正に処理されている	生活排水の適正処理	3.26
3	消防やごみ処理などの広域的な行政が、効率的・効果的に行われている	広域的な連携の推進	2.95
4	し尿の適正処理や動物の適正飼育などが図られ、良好な衛生環境が保持されている	生活衛生の充実	2.87
5	消防・救急体制が充実している	消防・救急体制の充実	2.82
6	必要な時に適切に医療を受けることができる環境が整っている	医療環境の充実	2.80
7	ごみの減量化・資源化などにより、環境への負担の軽減が図られている	循環型社会の構築	2.77
8	豊かな自然環境の保全が図られている	自然環境の保全と気候変動対策の推進	2.76
9	道路の整備が進められている	道路の整備	2.70
10	子ども・子育てへの支援が充実している	子ども・子育てへの支援	2.63
11	市民生活に潤いと安らぎを与える緑豊かな環境づくりが進められている	公園の整備と緑化の推進	2.62
12	学校の教育内容や教育環境が充実している	学校教育の充実	2.61
13	地域の青少年が健全に育成されている	青少年の健全育成	2.61
14	文化・芸術に親しむことができる環境が整っている	文化・芸術の振興	2.58
15	健康づくりに向けた支援、予防保健の充実により、健やかに暮らすことができる環境が整っている	健康づくりの推進	2.54
16	自然、歴史や文化を生かした美しく風格のある景観の形成が進められている	良好な景観の形成	2.51
17	市民が互いに思いやり、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境が整っている	地域福祉の推進	2.49
18	生涯にわたり、身近な場所でスポーツに親しむことができる環境が整っている	スポーツの振興	2.47
19	農産物を安定して供給することのできる農業の振興が図られている	農業・林業の振興（農業）	2.43
20	犯罪や交通事故による被害の未然防止対策の充実が図られている	防犯・交通安全対策の充実	2.39
21	自然環境と都市環境の調和する秩序あるまちづくりが進められている	計画的な土地利用の推進	2.38
22	高齢者が健やかにいきいきと暮らすことができる環境が整っている	高齢者福祉の充実	2.37
23	消費者被害の未然防止や救済が図られている	消費者保護の推進	2.37
24	生活に困難する人への対策や国民健康保険制度・介護保険制度等、社会保障の充実が図られている	社会保障の充実	2.36
25	生涯にわたり学び続け、楽しみや生きがいを持つことができる環境が整っている	生涯学習の充実	2.35
26	多くの人々が訪れ交流する観光のまちづくりが進められている	観光の振興	2.32
27	お互いを理解しながら個人が尊重される意識の醸成や男女共同参画社会の形成に向けた環境づくりが進められている	人権尊重・男女共同参画の推進	2.29
28	市民、NPO、事業者、行政などの協働によるまちづくりが進められている	協働の推進	2.29
29	甲府の魅力を外に向けて効果的に情報発信されている	シティプロモーションの推進	2.24
30	耐震化の推進などにより、安全で良好な住環境が確保されている	住環境の向上	2.21
31	都市としての便利さや暮らしやすさの向上が図られ、活気ある市街地の整備が進められている	市街地の整備	2.20
32	国際理解に対する市民意識が醸成され、外国人が訪れやすく、住みやすい環境づくりが進められている	国際交流・多文化共生の推進	2.20
33	障がいのある人が安心して暮らすことができる環境が整っている	障がい福祉の充実	2.19
34	甲府市地方卸売市場の活性化が図られている	卸売市場の活性化	2.19
35	高効率・多様化する行政ニーズに的確に対応し、最小の経費で最大の効果を実現する行政運営が行われている	持続可能な行政運営	2.18
36	勤労者がいきいきと働くことのできる就労環境が整備されている	雇用対策の推進	2.05
37	災害に強いまちづくりが進められている	防災・危機管理対策の推進	2.02
38	林業の活性化が図られている	農業・林業の振興（林業）	1.98
39	活力ある農業・工業の振興が図られている	農業・工業の振興	1.96
40	公共交通機関を利用して、円滑な移動ができる	公共交通の利便性の向上	1.94
41	東京圏などからの移住・定住が進んでいる	移住・定住の促進	1.86
42	中心市街地の賑わいが創出されている	中心市街地の活性化	1.70
	平均		2.42

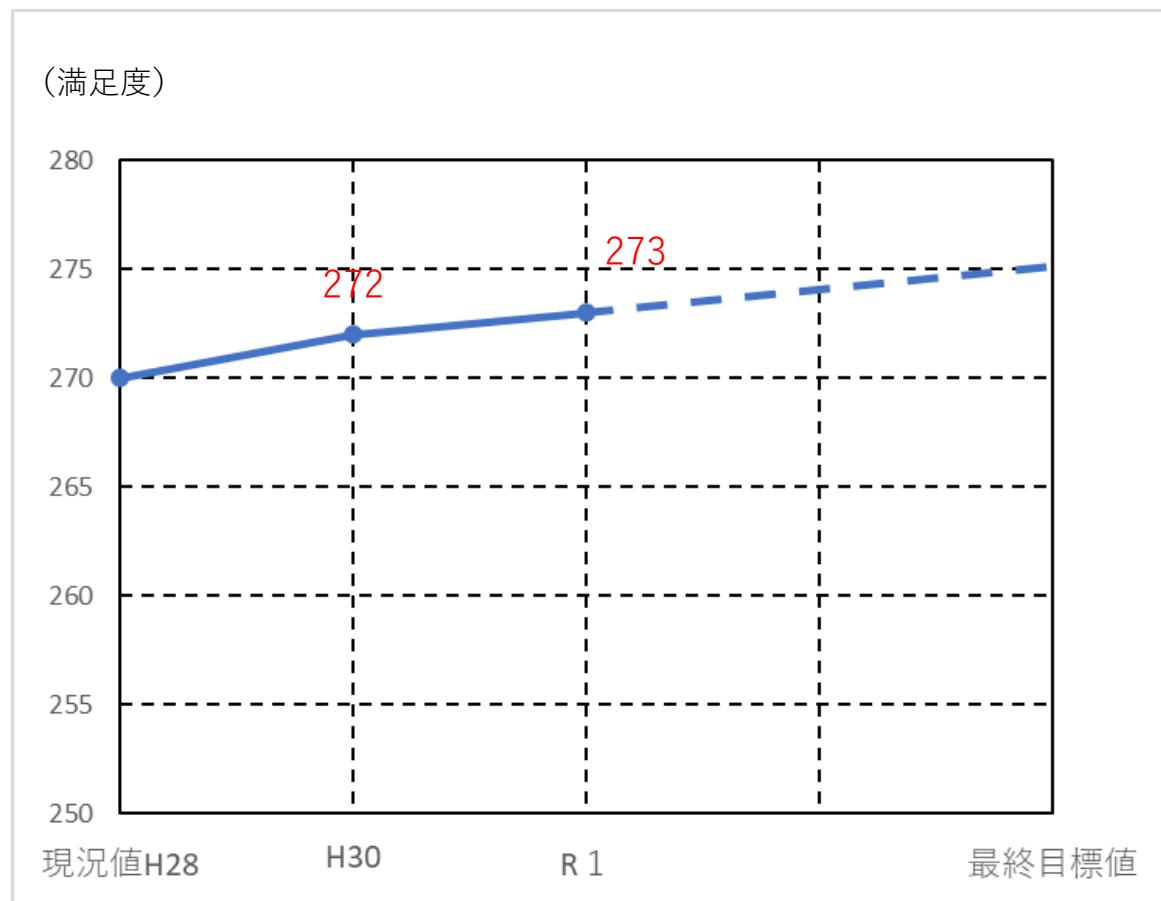
H30市民実感度調査

順位	質問	施策・基本構想の推進 (農業・林業の振興は別記)	市民 実感度
1	安全でおいしい水が安定的に供給されている	水道水の安定供給	3.41
2	公共下水道の整備などにより、生活排水が適正に処理されている	生活排水の適正処理	3.25
3	し尿の適正処理や動物の適正飼育などが図られ、良好な衛生環境が保持されている	生活衛生の充実	2.96
4	消防やごみ処理などの広域的な行政が、効率的・効果的に行われている	広域的な連携の推進	2.93
5	必要な時に適切に医療を受けることができる環境が整っている	医療環境の充実	2.88
6	ごみの減量化・資源化などにより、環境への負担の軽減が図られている	循環型社会の構築	2.87
7	消防・救急体制が充実している	消防・救急体制の充実	2.87
8	豊かな自然環境の保全が図られている	自然環境の保全と気候変動対策の推進	2.84
9	地域の青少年が健全に育成されている	青少年の健全育成	2.73
10	学校の教育内容や教育環境が充実している	学校教育の充実	2.73
11	道路の整備が進められている	道路の整備	2.72
12	子ども・子育てへの支援が充実している	子ども・子育てへの支援	2.69
13	市民生活に潤いと安らぎを与える緑豊かな環境づくりが進められている	公園の整備と緑化の推進	2.66
14	自然、歴史や文化を生かした美しく風格のある景観の形成が進められている	良好な景観の形成	2.62
15	健康づくりに向けた支援、予防保健の充実により、健やかに暮らすことができる環境が整っている	健康づくりの推進	2.61
16	文化・芸術に親しむことができる環境が整っている	文化・芸術の振興	2.59
17	生涯にわたり、身近な場所でスポーツに親しむことができる環境が整っている	スポーツの振興	2.57
18	市民が互いに思いやり、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境が整っている	地域福祉の推進	2.55
19	農産物を安定して供給することのできる農業の振興が図られている	農業・林業の振興（農業）	2.50
20	自然環境と都市環境の調和する秩序あるまちづくりが進められている	計画的な土地利用の推進	2.48
21	生涯にわたり学び続け、楽しみや生きがいを持つことができる環境が整っている	生涯学習の充実	2.48
22	生活に困難する人への対策や国民健康保険制度・介護保険制度等、社会保障の充実が図られている	社会保障の充実	2.46
23	高齢者が健やかにいきいきと暮らすことができる環境が整っている	高齢者福祉の充実	2.42
24	犯罪や交通事故による被害の未然防止対策の充実が図られている	防犯・交通安全対策の充実	2.42
25	消費者被害の未然防止や救済が図られている	消費者保護の推進	2.39
26	多くの人々が訪れ交流する観光のまちづくりが進められている	観光の振興	2.39
27	お互いを理解しながら個人が尊重される意識の醸成や男女共同参画社会の形成に向けた環境づくりが進められている	人権尊重・男女共同参画の推進	2.36
28	市民、NPO、事業者、行政などの協働によるまちづくりが進められている	協働の推進	2.35
29	耐震化の推進などにより、安全で良好な住環境が確保されている	住環境の向上	2.34
30	甲府の魅力を外に向けて効果的に情報発信されている	シティプロモーションの推進	2.30
31	国際理解に対する市民意識が醸成され、外国人が訪れやすく、住みやすい環境づくりが進められている	国際交流・多文化共生の推進	2.29
32	障がいのある人が安心して暮らすことができる環境が整っている	障がい福祉の充実	2.24
33	都市としての便利さや暮らしやすさの向上が図られ、活気ある市街地の整備が進められている	市街地の整備	2.24
34	高効率・多様化する行政ニーズに的確に対応し、最小の経費で最大の効果を実現する行政運営が行われている	持続可能な行政運営	2.23
35	災害に強いまちづくりが進められている	防災・危機管理対策の推進	2.22
36	勤労者がいきいきと働くことのできる就労環境が整備されている	雇用対策の推進	2.17
37	甲府市地方卸売市場の活性化が図られている	卸売市場の活性化	2.14
38	活力ある農業・工業の振興が図られている	農業・工業の振興	2.04
39	林業の活性化が図られている	農業・林業の振興（林業）	2.03
40	公共交通機関を利用して、円滑な移動ができる	公共交通の利便性の向上	1.98
41	東京圏などからの移住・定住が進んでいる	移住・定住の促進	1.86
42	中心市街地の賑わいが創出されている	中心市街地の活性化	1.79
	平均		2.49

R1市民実感度調査

順位	質問	施策・基本構想の推進 (農林・林業の振興は別表)	市民 実感度
1	安全でおいしい水が安定的に供給されている	水道水の安定供給	3.42
2	公共下水道の整備などにより、生活排水が適正に処理されている	生活排水の適正処理	3.29
3	消防やごみ処理などの広域的な行政が、効率的・効果的に行われている	広域的な連携の推進	3.03
4	し尿の適正処理や動物の適正飼育などが図られ、良好な衛生環境が保持されている	生活衛生の充実	2.97
5	必要な時に適切に医療を受けることができる環境が整っている	医療環境の充実	2.90
6	消防・救急体制が充実している	消防・救急体制の充実	2.87
7	ごみの減量化・資源化などにより、環境への負担の低減が図られている	循環型社会の構築	2.86
8	豊かな自然環境の保全が図られている	自然環境の保全と地産地消推進対策の推進	2.82
9	道路の整備が進められている	道路の整備	2.73
10	子ども・子育てへの支援が充実している	子ども・子育てへの支援	2.72
11	地域の青少年が健全に育成されている	青少年の健全育成	2.72
12	学校の教育内容や教育環境が充実している	学校教育の充実	2.70
13	市民生活に潤いと安らぎを与える緑豊かな環境づくりが進められている	公園の整備と緑化の推進	2.65
14	健康づくりに向けた支援、予防保健の充実により、健やかに暮らすことができる環境が整っている	健康づくりの推進	2.61
15	文化・芸術に親しむことができる環境が整っている	文化・芸術の振興	2.61
16	自然、歴史や文化を生かした美しく風格のある景観の形成が進められている	良好な景観の形成	2.60
17	生涯にわたり、身近な場所でスポーツに親しむことができる環境が整っている	スポーツの振興	2.56
18	市民が互いに思いやり、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境が整っている	地域福祉の推進	2.55
19	農産物を安定して供給することのできる農業の振興が図られている	農業・林業の振興（農業）	2.54
20	生活に困窮する人への対策や国民健康保険制度・介護保険制度等、社会保障の充実が図られている	社会保障の充実	2.45
21	新農化の推進などにより、安全で良好な住環境が確保されている	住環境の向上	2.44
22	生涯にわたり学び続け、楽しみや生きがいを持つことができる環境が整っている	生涯学習の充実	2.42
23	自然環境と都市環境の調和する秩序あるまちづくりが進められている	計画的な土地利用の推進	2.42
24	高齢者が健やかにいきいきと暮らすことができる環境が整っている	高齢者福祉の充実	2.39
25	犯罪や交通事故による被害の未然防止対策の充実が図られている	防犯・交通安全対策の充実	2.39
26	お互いを理解しながら個人が尊重される意識の醸成や男女共同参画社会の形成に向けた環境づくりが進められている	人権尊重・男女共同参画の推進	2.37
27	消費者被害の未然防止や救済が図られている	消費者保護の推進	2.36
28	多くの人々が訪れ交流する観光のまちづくりが進められている	観光の振興	2.34
29	甲府の魅力を外に向けて効果的に情報発信されている	シティプロモーションの推進	2.34
30	市民、NPO、事業者、行政などの協働によるまちづくりが進められている	協働の推進	2.32
31	国際理解に対する市民意識が醸成され、外国人が訪れやすく、住みやすい環境づくりが進められている	国際交流・多文化共生の推進	2.29
32	障がいのある人が安心して暮らすことができる環境が整っている	障がい福祉の充実	2.22
33	高度化・多様化する行政ニーズに的確に対応し、最小の経費で最大の効果を挙げる行財政運営が行われている	持続可能な行財政運営	2.22
34	災害に強いまちづくりが進められている	防災・危機管理対策の推進	2.21
35	都市としての便利さや暮らしやすさの向上が図られ、活気ある市街地の整備が進められている	市街地の整備	2.20
36	甲府市地方卸売市場の活性化が図られている	卸売市場の活性化	2.20
37	勤労者がいきいきと働くことのできる就労環境が整備されている	雇用対策の推進	2.16
38	活力ある農業・工業の振興が図られている	農業・工業の振興	2.07
39	林業の活性化が図られている	農業・林業の振興（林業）	2.03
40	公共交通機関を利用して、円滑な移動ができる	公共交通の利便性の向上	1.88
41	東京圏などからの移住・定住が進んでいる	移住・定住の促進	1.85
42	中心市街地の賑わいが創出されている	中心市街地の活性化	1.77
	平均		2.49

◆「実感度（満足度）」の向上の傾向は続くものと考えられる。



指標③： 渋滞長の緩和

指標	単位	現況値と目標値の算定方法	現況値	基準年次	目標値	基準年次	最終実績値	目標達成度
渋滞長の緩和	m	朝日町通り線は甲府駅南通り線から愛宕町下条線の交差点までの距離200mの渋滞長が発生していたことから現況値とした。その現況値に対して、平均旅行速度の向上により渋滞長は緩和されることとし、渋滞長に旅行速度の上昇率（1.4倍）を除して得た値を目標値としていた。 200m ÷ 1.4 ÷ 140m	200m	H30当初	140m	R4末	— (120m)	—

朝日町通り線の整備が完成していないので最終実績値の測定はできない。

参考までに整備計画期間満了時の数値を括弧書きで記載する。

参考値は、「朝日町通り線ピーク時間帯別渋滞長調査」の結果より、ピーク時間帯（18：00～19：00）の平均値である120mとする。

甲府駅南通り線、宝二丁目北新線の整備により、交通容量が増加し、交差点改良等による渋滞長が減少したと思われる。

【朝日町通り線ピーク時間帯別渋滞長調査結果】

・各時間帯において10分間隔で渋滞長を観測した（R5.10.2）

時間帯	渋滞長の分布	平均値
8：00～9：00	20～120m	70m
13：00～14：00	30～120m	80m
17：00～18：00	30～180m	120m

【現況値】

朝夕混雑時、朝日町通り線は甲府駅南通り線との交差点から愛宕町下条線の交差点まで渋滞長がつながる。



【実績値渋滞状況】



5. 事後評価書

■ 甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業 事後評価書

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

計画の名称	甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業												
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）					交付対象	山梨県甲府市						
計画の目標	甲府駅周辺土地区画整理事業及び甲府駅南口整備計画により一体的に勧めているアクセス道路の整備の推進に合わせて、拠点的市街地生成重点地区整備にふさわしい都市再生区画整理事業を導入し、歩行者、自転車等のネットワークを確立し、甲府駅利用者の利便性の向上と駅周辺の安全・安心で快適な都市空間の創出を図る。												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 甲府駅南口へのアクセス性の向上。 市民意向調査における「道路の整備が進められている」の実感度の向上を目指す。 朝日町通り線の整備により、現状の渋滞の緩和を図る。 												
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値				備考		
							当初現況値	中間目標値	最終目標値				
							H30		R4				
	甲府駅南口へのアクセス性の向上 ・H27年度道路交通センサスを基に平均旅行速度の向上を目指す。						10km/h	—	14km/h				
	道の整備が進められていることに対する市民の実感度の向上 ・H28年度実施の甲府市市民実感度調査による「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）を270ポイントから275ポイントへの向上を目指す。						270ポイント	—	275ポイント				
	朝日町通り線の渋滞緩和 ・甲府駅南通り線及び宝二丁目北新線の整備と一体的に朝日町通り線の整備を進めることで、朝日町通り線の旅行速度の向上と渋滞緩和を目指す。						200m	—	140m				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,916百万円	A	2,916百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%	
事後評価													
○事後評価の実施体制、実施時期													
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期							
社会資本総合整備計画の事後評価として甲府市で実施						令和5年度に実施							
						公表の方法							
						評価完了後、市のホームページへ掲載							

1. 交付対象事業の進捗状況+B28:T82															
交付対象事業															
A 基幹事業 基幹事業（大） 市街地整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H30	R1	R2	R3	R4	全体事業費 (百万円)	費用 便益比
A13-001	都市再生	一般	甲府市	直接	甲府市	甲府駅周辺地区（(都)朝日通り線外）	道路新設、道路改良	甲府市						2,916	1.36
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況															
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況				交付対象事業である朝日町通り線の整備が遅れているため、効果の発現状況が把握できない。											
II 定量的指標 の達成状況	指標①	最終目標値	14km/h	目標値と実績値 に差が出た要因	朝日町ガード詳細設計の着手に不測の日数を要したことから、朝日町通り線の整備が完成していないので最終実績値の測定はできない。 参考までに整備計画期間満了時の現況数値を括弧書きで記載する。 参考値は、R3年度道路交通センサスを基に平均旅行速度を計算した。										
		最終実績値	— (11km/h)												
	指標②	最終目標値	275	目標値と実績値 に差が出た要因	朝日町ガード詳細設計の着手に不測の日数を要したことから、朝日町通り線の整備が完成していないので最終実績値の測定はできない。 参考までに整備計画期間満了時の現況数値を括弧書きで記載する。 参考値は、コロナ禍により、令和2年度以降の市民実感度調査が実施されなかったが、令和元年度までの同調査において、「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）は着実に向上しているため、現時点における実感度は、令和元年度の数値とする。										
		最終実績値	— (273)												
	指標③	最終目標値	140m	目標値と実績値 に差が出た要因	朝日町ガード詳細設計の着手に不測の日数を要したことから、朝日町通り線の整備が完成していないので最終実績値の測定はできない。 参考までに整備計画期間満了時の現況数値を括弧書きで記載する。 参考値は、宝二丁目北新線の開通による交通量の減少が、渋滞長の減少につながったと考えることができる。										
		最終実績値	— (120m)												
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)				特になし											
3. 特記事項（今後の方針等）															
引き続き、朝日町通り線の整備を推進する。なお、現状においても令和2年度に完成した宝二丁目北新線の整備効果により、指標としている各数値が向上しているものもあることから、朝日町通り線の整備後の最終目標値について再検討を行うとともに、検証のため、完成後にフォローアップを行うものとする。															

資料 1

H30～R4 都市再生区画整理事業 執行状況一覧表

(単位：千円)

		H30	(執行率)	R1	(執行率)	R2	(執行率)	R3	(執行率)	R4	(執行率)	計	(執行率)
委託費	計画	70,000		20,000		95,000		105,000		10,400		300,400	
	実施	32,348	46%	12,699	63%	2,816	3%	82,343	78%	913	9%	131,119	44%
工事費	計画	0		0		5,000		385,000		886,600		1,276,600	
	実施	37,652	—	18,455	—	0	—	10,000	3%	87,786	10%	153,893	12%
補償費	計画	1,036,000		80,000		0		220,000		3,000		1,339,000	
	実施	1,036,000	100%	68,846	86%	137,184	—	27,657	13%	4,701	157%	1,274,388	95%
計	計画	1,106,000		100,000		100,000		710,000		900,000		2,916,000	
	実施	1,106,000	100%	100,000	100%	140,000	140%	120,000	17%	93,400	10%	1,559,400	53%

計画 2,916,000

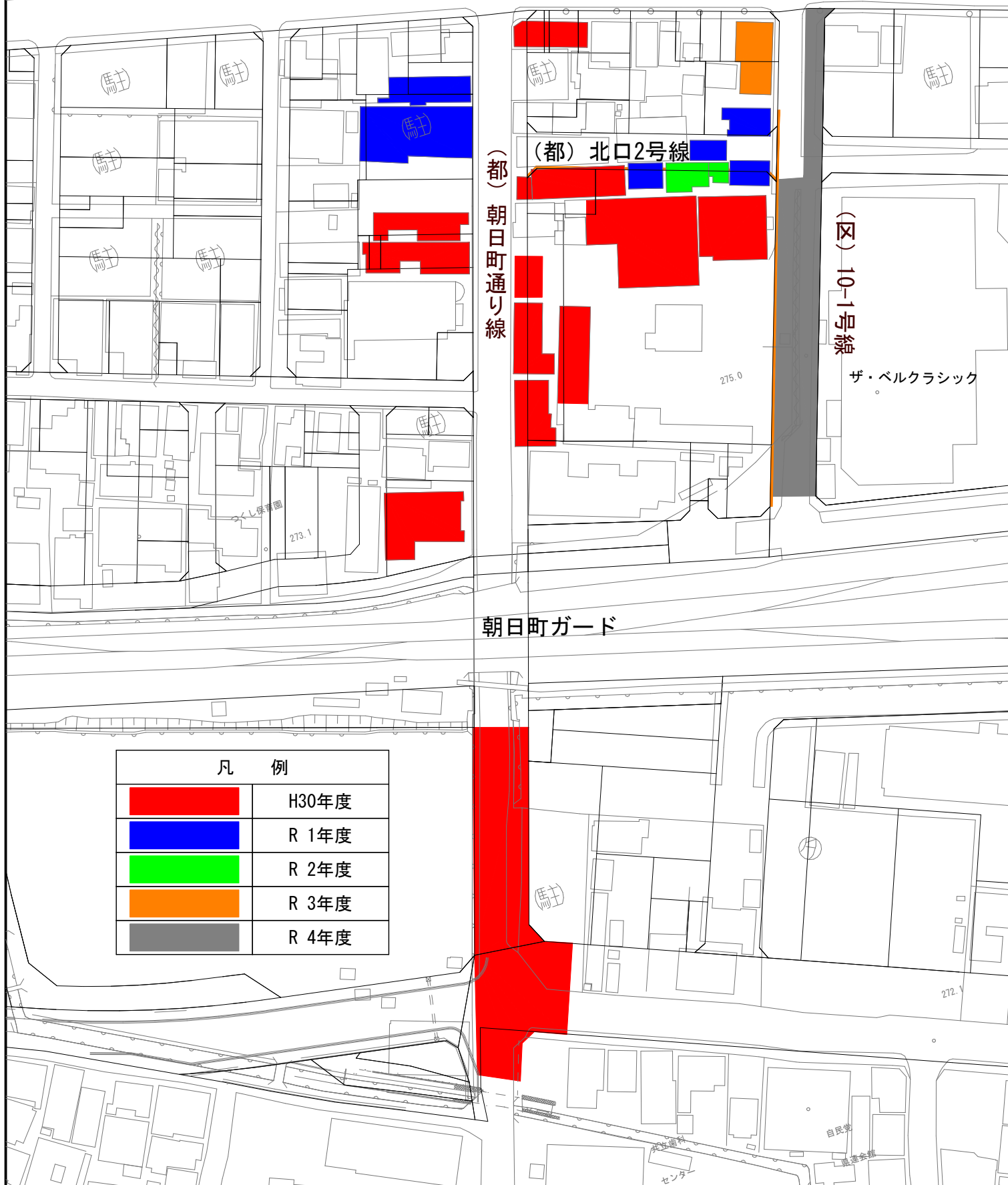
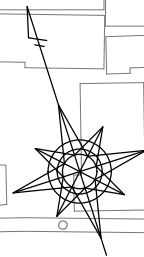
H30～R4 都市再生区画整理事業 執行件数一覧表

		H30	R1	R2	R3	R4	計
委託費	計画	3	2	4	4	2	15
	実施	5	4	2	4	2	16
工事費	計画	0	0	1	2	2	5
	実施	4	2	0	2	1	9
補償費	計画	16	13	0	6	2	37
	実施	16	9	6	4	2	37
計	計画	19	15	5	12	6	57
	実施	25	15	8	10	5	62

H30～R4 都市再生区画整理事業 事業計画・実施内容

H30	計画	朝日町ガード全体の調査設計委託 3 件、建物移転等補償契約 16 件
	実施	朝日町ガードの工法検討など部分的な調査設計を行うことになり、5 件の委託を行った。 委託費が減額となったことにより、朝日町ガード南交差点の工事を前倒しで行った。（繰越工事） 建物移転等の補償契約を 16 件行った。
R1	計画	朝日町ガード詳細設計委託 2 件、建物移転等補償契約 11 件・電線等移設補償契約 2 件
	実施	朝日町ガード詳細設計委託は見送り、北口 2 号線道路詳細設計等 4 件の委託を行った。 委託費及び補償費が減額になったことにより、朝日町ガード南交差点の工事の変更（増額）を行った。 建物移転等の補償契約 7 件及び電線等移設の補償契約 2 件を行った。
R2	計画	朝日町ガード詳細設計等委託 4 件、区画道路 10-1 号線築造工事 1 件
	実施	朝日町ガード詳細設計委託を次年度に送り、建物他補償額積算業務委託 2 件を行った。 隣接地権者との協議により、区画道路 10-1 号線築造工事を実施せず次年度に送った。 R1 から繰り越した建物移転等補償 4 件及び委託費、工事費の減額により前倒しで 2 件の計 6 件の補償契約を行った。
R3	計画	朝日町通り詳細設計委託 4 件、朝日町ガード整備等工事 2 件、建物移転等補償 6 件
	実施	朝日町ガード詳細設計委託 4 件の委託を行った。 前年度行う予定であった区画道路 10-1 号線築造工事を行った。 朝日町ガード整備工事は、朝日町ガード詳細設計の遅れにより、令和 6 年度以降に行う予定となった。 前年度に補償契約を 2 件行ったことにより、建物移転等の補償契約は 4 件となった。
R4	計画	建物他補償額積算業務委託 2 件、朝日町ガード整備等工事 2 件、電線等移設補償 2 件
	実施	建物他補償額積算業務委託 2 件の委託を行った。 北口 2 号線築造工事を行った。 朝日町ガード整備工事は、朝日町ガード詳細設計の遅れにより、令和 6 年度以降に行う予定となった。 電線等移設補償契約を 2 件行った。

年度別執行箇所図



凡 例	
	H30年度
	R 1年度
	R 2年度
	R 3年度
	R 4年度